

議 事 録

会議の名称	令和８年度第１回松田町総合計画審議会
開催日時	令和８年６月18日（木曜日）14時00分から16時00分まで
開催場所	松田町役場４階 大会議室
出席者	１３名（名簿順） 鍵和田委員、山岸委員、松島委員、岩田委員、陶山委員、渋谷委員、鈴木副会長、小澤委員、小川委員、古舘会長、吉川委員、藤巻委員、足立委員 町：田代副町長、野崎教育長、遠藤参事兼観光経済課長、鍵和田政策推進課長兼定住少子化担当室長、山岸総務課長、鍵和田安全防災担当室長、中津川税務課長、堀谷町民課長、宮根福祉課長、高橋子育て健康課長、柳澤まちづくり課長兼駅周辺事業推進担当室長、渋谷環境上下水道課長、椎野教育課長、遠藤生涯学習推進課長 事務局：政策推進課（鎌田、松田） （株）梵まちづくり研究所（黒丸、仙波） 欠席：山崎委員、太田委員
議 題	１ 委嘱状交付 ２ 会長あいさつ ３ 副町長あいさつ ４ 自己紹介 ５ 議事録署名人（２名）の選出 ６ 議事 （１）松田町第６次総合計画における令和７年度事業進捗状況及び令和８年度事業方針等について （２）松田町第７次総合計画策定について （３）その他 ７ 閉会
会議資料の名称	資料１：松田町第６次総合計画に係る取組の進捗状況と評価 資料２：松田町第６次総合計画事業進捗評価シート（施策大綱ごと（１～６）） 資料３：各評価に係る進捗方法確認シート（評価ごと（１～２）） 資料４：まちづくりアクションプログラム目標指標達成状況シート 資料５：中学生アンケート調査報告書 資料６：中学生ワークショップ結果報告書
記録方法	☐全文記録 ☒発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐会議内容の要点記録

会議内容

1 委嘱状交付

〈小川委員、藤巻委員に委嘱状を交付〉

2 会長あいさつ

○古舘会長

第7次総合計画策定年度のためタイトなスケジュールとなっている。委員の皆さまには活発なご意見をいただきたい。

3 副町長あいさつ

○田代副町長

第7次総合計画の策定が今年度の大きな作業となっている。審議会の開催は4回を予定している。

現行計画の成果、進捗を踏まえ、松田町の発展はもちろんの事、町民の皆さまが夢や希望を持てるような計画を策定したい。

4 自己紹介

〈各自、自己紹介〉

5 議事録署名人（2名）の選出

〈議事録署名人として吉川委員、藤巻委員が選出〉

6 議事

（1）松田町第6次総合計画における令和7年度事業進捗状況及び令和8年度事業方針等について

■ 1. 誰もが健康で思いやりのある暮らしを育むまち【健康・福祉】

○山岸委員

チルドレンファーストで子ども達にご配慮いただきありがたい。健康増進計画に基づく健康づくり事業について、乳幼児期と高齢者の方の健康診断が多い印象があるが、学齢期を対象とした事業について、詳細を教えていただきたい。

母子保健法について、近年育児の担い手は多様化しているが、母子手帳を親子手帳にするなど、「母子」に縛られない取組の方向性を検討しているか。

○子育て健康課長

健康増進計画は、生涯の健康を増進するための計画であり、子育て健康課のほか、

教育課や福祉課と連携して推進している。学齢期を対象とした健康教育や健康相談まで展開できていないため、教育課などと連携を強化し、保護者の声も聴きながら具体的な事業の検討を進めたい。

令和7年4月から松田町子ども家庭センターを設置した。母子保健と児童相談、児童虐待対応を一体的に、切れ目なく対応する体制を整備している。相談支援にあたっては、親と子だけでなく、家庭を取り巻く環境にも目を向け、関係機関との連携を図りながら進めている。

■ 2. 次代の担い手となる文化を育むまち【教育・文化】

○古館会長

いじめ防止対策に関連して、松田町の小中学校における不登校やひきこもりの実態について可能な範囲で教えていただきたい。

○教育課長

不登校の出現率は国や県との割合と同様約3～4%となっている。年30日以上欠席が不登校の定義である。

○教育長

松田町の不登校出現率は全国とほぼ同じである。近年の調査では、不登校を単なる「問題行動」ではなく「個性」として捉えており、学校復帰のみを目指すのではなく、社会性の育成と自立を目標としている。松田町では、適応指導教室やコスモスルームを設置しており、現在、中学校ではひきこもっている生徒はいない。すべての不登校生徒が何らかの支援を受けている。

○鈴木委員

寄地区におけるボトルドウォーター生産施設整備事業の進捗を教えていただきたい。また、ナフサの影響はあるか。

○政策推進課長兼定住少子化担当室長

現在、事業者の募集をかけている。ナフサの影響もあるが、それを加味した上で、各事業者からご提案をいただき、その提案を採択していく。7月中旬に事業者選定、7月下旬に契約や議会提案といったスケジュールで進めている。

○古館会長

生涯学習センターの大ホールイベント開催までの仕組みを教えていただきたい。

○生涯学習推進課長

大ホールイベントについては、町主催として行う事業と、貸館として民間事業者
に場所を貸す事業の大きく2つに分けることができる。先日、周知した「人魚姫」
は町主催であり、宝くじの助成を受けて開催する。民間の貸館については、10カ月
先まで予約を受付けており、昨年度は、フィットネス大会などの利用があった。今
年度は、山北高校が、体育館改修中のため利用している。

○小澤委員

生涯学習センターの利用料は他の町と比較すると高いが、町民は安く利用できる
などの対策はないのか。

○生涯学習推進課長

割高なのは担当課としても感じているが、町民に使ってほしい思いはあるので、
町民の方が主体の団体については団体登録をしていただき、割安に利用いただける
制度を設けている。何かあればご相談いただきたい。

■ 3. 賑わいと雇用を生み出し、働きがいを育むまち【経済・産業】

○吉川委員

保育園の園外活動時に西平畑公園に行った。滑り台は修繕予定があるか。また
階段に苔が多く安全面への懸念がある。送迎用のバスなどがあればもっと簡単に
行くことができてありがたい。

○観光経済課長

公園の老朽化した施設については、指定管理者と協力して、優先順位を付けな
がら整備を進める計画を今年度策定中である。財政的制約があるため、補助金の
活用も検討していく。

○足立委員

送迎用のバスには、幼稚園バスを活用できないのか。

○教育課長

幼稚園バスの活用については、運転手の配置、保険、法律上の課題があり、今
後、調査・検討が必要である。

○鈴木副会長

健康福祉センターのお風呂、バイオマス関連施設の現状についてご報告いただ
きたい。

○福祉課長

健康福祉センターのお風呂の水については、井戸水を汲上げて使用しているが、一緒に泥なども汲上がるため配管が詰まってしまった。現在業者に調査依頼中であり、場所が特定でき次第、交換工事を実施する予定である。

■ 4. 持続的に発展し、豊かな暮らしを育むまち【暮らし・基盤】

○吉川委員

グリーンベルト等の歩道整備に関連して、歩道との境目のラインが消えていたり、道幅が狭い場所があったりするため、対応していただきたい。

○まちづくり課長

毎年度パトロールを実施し、予算の範囲内で優先順位を付けながら整備を進めている。具体的な場所の情報提供をいただき、対応を検討したい。

○鈴木副会長

空き家対策の進捗状況について教えていただきたい。

○政策推進課長兼定住少子化担当室長

使われていない物件で活用いただきたいという意向の物件については、町ホームページ等で紹介し、所有者と利用希望者をつなぐ役割を果たしている。

5月に町内全域の空き家調査を実施した。調査結果を踏まえ、優先度を考慮して所有者にアプローチを行い、活用可能な物件について声かけを進めている。

危険な空き家については、行政代執行により行政が所有者の代わりに解体するという方法もあるが、何度もやり取りをする必要があり、税金を要することから、現状では所有者への働きかけに注力している。

○鍵和田委員

新松田駅南口のエレベーター設置に関連して、駅前広場全体の整備計画について、進捗を教えていただきたい。

○まちづくり課長兼駅周辺事業推進担当室長

新松田駅南口へのエレベーター設置については、小田急と協議し、設計段階に入っている。令和9年度の工事着工を予定している。南口広場は用地交渉や予算検討を行い、安全面を重視して進めている。北口の再開発と同様に、南口についても今後進める予定である。

○藤巻委員

寄地区の公共交通について、夕方のバスの便が少なく、中学生が部活動後等の帰宅手段として、利用できない状態である。朝も始発が遅く、部活開始に間に合わない。

○政策推進課長兼定住少子化担当室長

利用者の減少に伴い減便が進み、働き方改革により、運転手の拘束時間短縮ルールが導入され、さらに減便が進んだ。デマンドバスを導入したが、採算性の課題から令和8年3月末で終了した。今年度は、夜間便の実証実験のようなかたちで検討している。

■ 5. 自然と共生し、安全・安心な環境を育むまち【自然・環境】

○小澤委員

子どもの帰宅時の不審者対策として、防犯カメラの設置状況について教えていただきたい。また、コスモス学園の高架下付近が暗く、対応をお願いしたい。

○安全防災担当室長

町内に現在20カ所の防犯カメラが設置されている。今年度さらに4～5カ所の新規設置を予定している。不審者が目撃された場合、松田警察署に連絡が入り、警察が防犯カメラの映像を活用して調査する。防犯カメラの設置場所については、自治会長からの要望調査を実施し、松田警察署と協力して選定している。

○陶山委員

防犯カメラは1方向しか撮影できない。1カ所に2方向対応できるように設置するなど、今後も拡充をお願いしたい。

○鈴木副会長

松田警察署からの情報として、車上荒らしや空き巣が多いとのことで、町民への注意喚起の強化をお願いしたい。

■ 6. みんなで協力し、みんなの力を育むまち【実現手段】

○鈴木副会長

農林水産アカデミーの事業や校舎の改修工事について、進捗を教えてください。

○観光経済課長

最後に残っていた電気の工事が終わり、旧寄中学校の指定管理者が農業アカデミーをするということで、町とどのようなことをやっていくか協議をする予定である。工事については終了した。

(2) 松田町第7次総合計画策定について

○事務局

〈資料5、資料6について説明〉

○古舘会長

買い物できるまち、店が多いまちを望む声はやはり多い。現行計画策定時にも多かった。

○小澤委員

子供は素直なので、賑わいのある町になったら嬉しいだろうと感じた。

○吉川委員

8年後はすぐなので、大人もうかうかしてられない。

○松島委員

子ども達が考えていることは、私たちも考えていないといけない。不満が出ないまちにしていきたい。

○古舘会長

次を担う世代の意見はぜひ計画に盛り込んでいただきたい。

○岩田委員

以前は商店街などに子どもでも買い物ができる店があったが、今後再開することは難しいのか。

○陶山委員

中学生は、お小遣いで利用できるようなファーストフード店がほしいのではないか。松田町は人口に対して飲食店の数は多いが、子ども達が食べる飲食店がない。駅前開発後に商店街も盛り上げられる可能性はあるが、現時点では難しい。

花火大会は物価高騰の影響による予算の関係で、このままだと実施できなくなってしまう。存続させるには、みんなで協力して行かなくてはならない。子どもたちのためにも続けていきたい。

(3) その他

○鈴木副会長

生活支援・経済的支援を目的とし、他の自治体では「暮らし応援カード(5,000円分)」を配布している。松田町での配布はなく、他の市町村との差がある理由、松田町の使途について教えていただきたい。町民に伝わっていない状況である。

○政策推進課長兼定住少子化担当室長

松田町は水道料金の基本料金減免やプレミアム商品券に充てるなど、物価高騰対策費として活用している。他市町村のように現金給付は行っていない。5月の自治会長連絡協議会では説明を行った。

○小川委員

移住してきて間がなく、松田町の事を良く知らない。自然があつてとても良い環境なのに、よく知らないからその場所に行こうと思わない。周知をもう少し考えていただきたい。また、人口減少が進む中、新しい人に来てもらうためにはもっと松田町を知ってもらう必要がある。インバウンドの観光客を誘致できるように目玉になるようなものがあると良いのではないかな。

議題7 閉会

○事務局

次回の審議会は、7月21日(火)14時から行う。第7次総合計画策定について、より詳しく審議いただきたい。細かい施策ごとの質疑等は想定していないため、委員の皆さまと事務局で行う。

(閉会)